全国有力100社アンケート調査

トップは「横ばい」の44％　2位は「やや強気」で30％「やや弱気」も24％に

７月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「7月の相場動向」の結果がまとまった。全体（電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計）の結果は、「横ばい」が44％で前月に続きトップとなった。次に多かったのは「やや強気」の30％、3位は「やや弱気」の24％と、今回は回答が比較的分散した。

◆業種別～電炉メーカーは「やや弱気」が46％に

業種別集計では、電炉メーカーは「やや弱気」が46％と最も多かった。以下「横ばい」が39％、「やや強気」が15％で続いた。商社・シッパーは「横ばい」が38％、「やや強気」が31％、「やや弱気」が23％、「弱気」が8％だった。市中業者は「横ばい」が46％、「やや強気」が32％、「やや弱気」が20％、「強気」が2％だった。

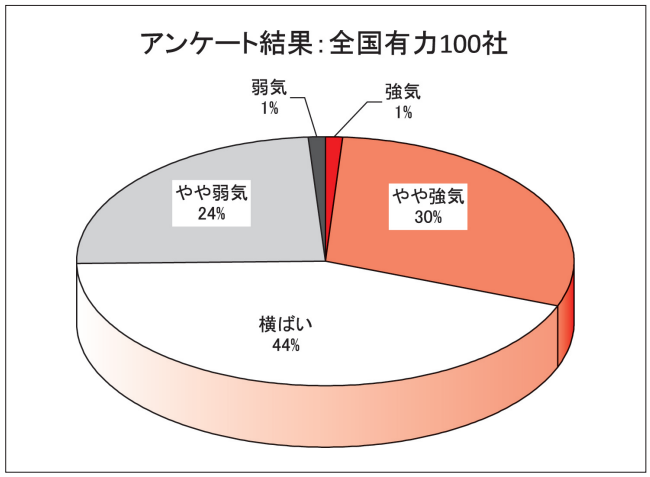
◆地域別～各地域ともトップは「横ばい」

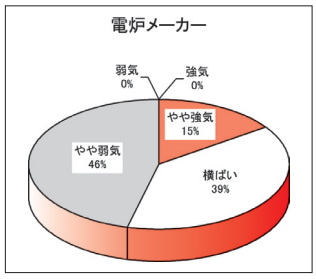
地域別では、いずれもトップは「横ばい」だった。

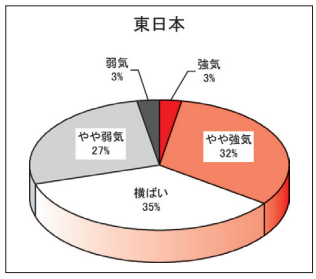
東日本は「横ばい」が35％、2位は「やや強気」で32％だった。中部・東海は「横ばい」が47％、2位は「やや弱気」で32％だった。西日本は「横ばい」が52％と半分以上を占めた。2位は「やや強気」の31％だった。

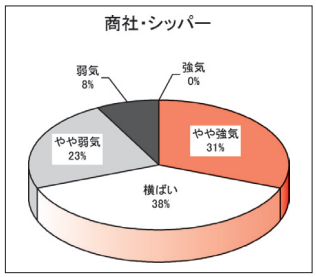
＜個別コメント（一部）＞

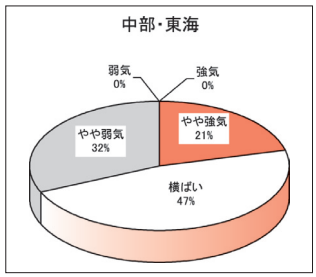
▼東アジア各国の夏期電力ピークカットによる生産量の減少によりスクラップの使用量も減少する。また、トルコもラマダン入りし、購入意欲が減退していることもあり、やや値下がりすると思われる。ただし、韓国も8月後半～9月分の手当てが必要で下がりは限定的。お盆明けからは上昇傾向になるのではないか。▼7月は電炉は減産となり、スクラップの需要は減る。▼中国産の安いビレットが輸出されており、これが増えればスクラップ価格の下落につながるだろう。▼7月下旬には電力需給がタイトとなり、メーカーの炉休も集中するため、ヒートアップしている市況も落ち着いてくると思われる。▼東京製鉄が3週連続で値上げしているが、ディーラーと会話しているとそろそろ止まるのではないかとの声を多く聞く。海外向け価格も伸びてこない中、湾岸価格もこれ以上追随できないと考える。▼7月前半はやや強気、後半はやや弱気。

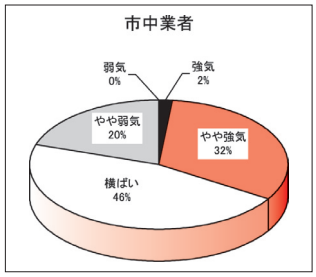


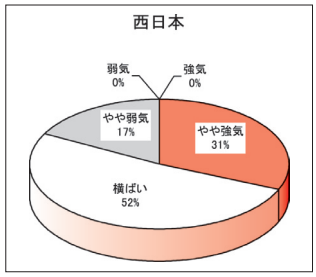












【全国有力100社アンケート調査概要】
■回答方法:7月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答 ■対象：100社（業種別：メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社）（地域別：東日本40社、中部・東海20社、西日本40社）■調査期間：6月24日～7月2日 ■回答率：91.0％（東日本92.5％、中部・東海95.0％、西日本87.5％）

Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業
株式会社ミヤザキ・メタルサービス
MIYAZAKI
http://www.miyazaki-metal.com
本　社　大阪市淀川区三国本町１丁目17－19
TEL(06)6393－8401㈹　FAX(06)6399－0313
ISO14001認証取得
野中工場　大阪市淀川区野中北通１－１
TEL(06)6393－8027
三重支店　三重県伊賀市予野4938－120
TEL(0595)20－1601　FAX(0595)20－1602
ISO14001認証取得
エコ・リサイクルラボ　三重県伊賀市予野4949－15